



ACCREDITED 2019

sanotan Sano Nihon University College

katakuri

佐野日本大学短期大学学報 かたくり

| 第154号 | 令和5年12月1日

わたしたちの  笑顔が溢れた



魚つり、輪投げ、制作コーナーではうちわ作り、にじみ絵を体験しました。そして、こども達と一緒に「ジャンボリミッキー！」も踊りました。たくさんの皆様にお越しいただき、笑顔いっぱいの楽しいフェスティバルになりました。ご来場くださいました皆様、ありがとうございました。



さのっ子フェスティバル (こどもフィールド)



地域の子育て世帯への支援と交流を目的に「あつまれ さのっ子フェスティバル～笑顔の輪を広げよう～」が8月4日(金)に行われ、地域の子育て世代の皆様と本学こどもフィールド2年生が、手作りのお祭りを楽しみました。屋台ではヨーヨー、射的、

佐野市立南中学校との連携教育・体験授業



10月12日(木)、地域における連携教育を推進するため、佐野市立南中学校と本学は連携教育に関する申し合わせを締結しました。その第1回目として、佐野南中学校3年生152名が本学の授業を体験しに来てくれました。10の専門分野ごとに工夫を凝らした専門的かつ分かりやすい授業が行われ、中学生の皆さん・本学学生・教職員がふれあいながら楽しく体験してもらいました。授業後には小山庄長より「将来の夢」について話があり、中学生の皆さんへ励ましのエールを送りました。皆さん、夢に向かって頑張ろう！



病院見学 (医療事務フィールド)



日本大学医学部附属板橋病院



済生会宇都宮病院



芳賀赤十字病院



自治医科大学附属さいたま医療センター



佐野厚生総合病院

9月7日(木)～15日(金)の期間、医療事務フィールド1年生は大学病院など様々な病院を見学しました。受付、医事課、薬剤部、救急外来など各部署の業務説明や館内見学では、普段見ることのできないところを案内していただき、医療現場を知る有意義な機会となりました。また、卒業生が働く様子を間近で見たり、卒業生から話を聞くことで、学生は病院で働くモチベーションも高まったようです。お忙しいところ懇切丁寧にご対応くださいました職員の皆様に心より感謝申し上げます。



SANOTAN 32TH MIKAMO-FESTIVAL

学報編集委員 板倉 茂樹 | 久保 由佳 | 古川 貴子 | 栗原 多恵 | 加藤 茉奈美 | 駒場 俊太

発行: 佐野日本大学短期大学 〒327-0821 栃木県佐野市高萩町1297 電話: 0283-21-1200

●本学は令和元年度(一財)短期大学基準協会による認証評価の結果、適格と認定されました。
●本学の取り組みとして、積極的な情報公開に務めております。
一部資料についてはホームページ等で閲覧が可能です。



公式ホームページ ▶ <https://sanotan.jp/>

スマートフォンはコチラから▶



sanotan Sano Nihon University College

第32回
みかも祭
with us
～笑顔溢れる絆の輪～

たくさんの笑顔の輪が、サノタンで繋がりました。

この2日間、いっぱい笑いました。

準備中も笑顔でした。

企画中でも、笑顔でした。

10月21日(土)・22日(日)の2日間、第32回みかも祭が行われ、2日目の22日(日)は4年ぶりの一般公開での開催となりました。

今年のテーマは「with us ～笑顔溢れる絆の輪～」。

1日は、学生によるステージパフォーマンスや模擬店、〇×クイズ、BINGO大会などのイベントが行われ、大いに盛り上がりました。また、1日目の締めくくりには、参加者全員のカウントダウンでキャンパス内のイルミネーションを点灯しました。2日目は、前日に引き続き、SEMサークル×大栗保育園の皆さんによるダンス、佐野日本大学高等学校・中等教育学校の吹奏楽部や和太鼓部による演奏が行われた他、自衛隊栃木地方協力本部様のご協力で自衛隊車両が展示され、記念撮影ができました。さらに、みかも祭の目玉ともいえる爆笑ライブには、大人気お笑い芸人「ティモンディ」と「わらふぢなるお」が登場し、会場は熱狂と笑いの渦に包まれました。

開催2日間とも天候に恵まれ、多くの来場者の皆様、卒業生、学生、教職員の素敵な笑顔を見ることができました。みかも祭を無事に終えることができたのも、地域の皆様、ご来場いただいた皆様、関係者の方々のご支援・ご協力のおかげです。心より御礼申し上げます。

